

丸ビルの改修工事

鐵筋コンクリート耐震壁成る

蜂の巣の様な丸ビルを生きた儘で手術するのである。建築上の改修工事として此位の大工事は恐らく今後はありますまい。又無い事を望みます。鐵骨鐵筋コンクリートの新装なつた丸ビルは今や恐らく永久の姿を地上に現はしたのであります(編者)

丸ビルは東京驛に相對して丸ノ内の浮城の觀をなす日本唯一の大ビルディングである、米國には八十階のビルディングもあるが、東京では此位のものが止りであるかも知れない、丸ノ内邊は一帶に昔の海であるから地下60尺位で漸く砂利の層があるが、丸ビルの基礎は亞米利加松の杭で其處迄届いて居るのである。

日本としての建築レコードを示した丸ビルの工事は米國のフラー建築會社が三菱から實費精算方法で請負つたものである。

地階を別にして八階建、(一部九階)地上102呎6吋、建築面積 2,183坪總延坪 18,300坪、工費約 10,000,000圓で30ヶ月間に施工した。

素晴らしい迅速なる施工振りは日本の工事界を甚だしく刺戟した、東京の眞中で外國人に是丈けキャタタタした仕事を見せ付けられて實際日本の工事界、特に民間の古い業者は負惜み丈けの言わけでは濟まなくなつた。それ以來何れ丈け工事を云ふ事に反省した事であらう。

被害の程度

然しあの天正十二年の大震に遇ふては憫れにも丸ビルは可成の被害をうけた。特にフラーがやつた丸ビル、郵船ビル、有樂ビルがひさかつたので、彼等にケチをつける口實はなつた。

あれ丈けの鐵骨構造の丸ビルが一階から四

階迄の壁體の各所に龜裂を受けた。而して廊下の兩側壁は各階ともホロータイル積であつたから六階以下殆んど皆やられた。然し下町が全部灰燼に歸したため、生き残つた丸ビル

は一日も早く修繕して社會の需要に應ぜなければならなかつた。

再びあの位の地震があつても大丈夫のものにしなければならぬ。然も一日も早く補強改修しなければならぬ。然も丸ビル全部の室は各商店や事務所に使用せる儘で工事を施工しなければならぬ。

震災後三菱は直に大阪の大林組に此の改修工事を托する事の安全であるとして交渉した、當時大阪市は異常なる同情を以て震災地に對してをつたので、三菱からの此の交渉は忽ち快諾されて大林組は全力を擧げて三菱の信頼に酬ゆるの決心をしたさうである。

而して二ヶ年半で、恰度フラーが新築した時と同じ期間を以て今年七月補強改修工事は全部終つた。

此の補強改修工事は實費精算方法で、報酬は實費の10%を云ふ契約である。

三菱地所部には營膳課があつて、課長は工學士藤村朗氏、其課内には多數の技術者があつて設計監督の任に當つてをるから、工事設備から、材料の買入、工法の指定迄悉く三菱地所部營膳課の指圖に依つたもので、普通の請負工事は大に趣を異にしてをる。



(1) 三菱地所部營膳課長
工學士

藤村 朗氏

(1) Mr. Row Fujimura,
The Head of Department of Building & Repairs, Mitsubishi Company, Tokyo.